

# 現在の課題



高校生の頃はメイク禁止だったけど、就職したらメイクは当たり前だったから少し困惑したかも。ネットとか動画サイトで調べて買った化粧品もなんだか自分に合っていない気がするし…

校則が厳しくてポニーテールは禁止だし、勿論メイク・髪染めは禁止。でも地毛の茶色でも黒に染めさせられることとか、リップクリームも少し色がついていたら注意されることとか、それって本当に大切な規則なのかなって思っちゃう。



- ▶校則が厳しく、理由も不明確なものが多い
- ▶高校ではメイク禁止、社会ではメイクができて当たり前
- ▶自分で学ぶには限界があり、自信喪失や不安につながる
- ▶高校と社会での常識のギャップが大きい



高校生のうちに知識を身に着けることができる環境を整える必要がある

そこで私たちは



を提案します！

## 解決方法

授業を通じて社会につながるマナーやメイクなどを学ぶことが出来るようにする！



- ▶学んだメイクや身だしなみを校則に反映させ、学校全体の雰囲気自体を変えるきっかけをつくる
- ▶社会へスムーズに踏み出すことが出来るよう、高校と社会のギャップを小さくする

| 日 | 月 | 火       | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---------|---|---|---|---|
|   |   |         |   |   |   |   |
|   |   | 通常授業    |   |   |   |   |
|   |   | ミライデザイン |   |   |   |   |
|   |   |         |   |   |   |   |
|   |   |         |   |   |   |   |

1カ月の学校スケジュール

高校1年から高校2年までの2年間、週に1時間ミライデザインという授業を設ける

- ▶女子生徒はメイク基礎・マナー基礎の2分野を学ぶ
- ▶男子生徒はマナー基礎の1分野を学ぶ

1日の授業  
(例・高2)

|    |    |            |     |            |             |
|----|----|------------|-----|------------|-------------|
| 講義 | 実践 | アクティブラーニング | 再実践 | アクティブラーニング | 講義内容<br>まとめ |
|----|----|------------|-----|------------|-------------|

**マナー基礎**▶高1では場面に合ったファッションや言葉遣い、作法などを学び、高2では場面に合ったマナーを自ら考察しまとめ、実際に講師にアドバイスを受けながら実践を重ねていく

**メイク基礎(女子生徒のみ)**▶高1では自分のパーソナルカラーや骨格に合ったメイクを研究したり、高2では支給されるメイク用品を使用して実際に講師にアドバイスを受けながら実践を重ねていく

\*多くの人と交流し、互いに発見をしながら学ぶためにアクティブラーニング授業を行う



## 授業実施後



高校生の頃に学んだことで、社会人になった今自信をもって自分に合ったメイクができるし、正しいマナーも身につけることができたから積極的になれた！

校則は授業で習う内容の身だしなみに基づくようになったから本当に必要な校則だけになって過ごしやすくなったし、将来への不安も少なくなった！



過度な生徒への規制がなくなり、本来あるべき高校生らしいフレッシュな印象づくりが可能に！  
学校が取り組むことによって、生徒だけでなく教師や社会人にも影響を与えることが出来る！